

匹見地域協議会（第3回）会議次第

日時 令和元年10月29日（火）14:00～

場所 匹見タウンホール 集会ホール

出席者

（委員）藤谷 一剣・齋藤 惟人・大谷 文男・西川 友史・大久保純子
溝田 洋子・村上 巴・河本 亮・齋藤 光・齋藤 幸士

（益田市）河上副市長

島田匹見総合支所長、藤井地域振興課長・田中地域振興課参事、齋藤分
室長・藤本分室長・佐々木分室長
政策企画局政策企画課

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 協議事項

（1）益田市合併報告書（案）について〈資料1〉

（2）匹見豪雪山村開発総合センター耐震化事業について〈資料2〉

4. その他

次回開催 令和 年 月 日（ ） 時 分～

主催者名	匹見総合支所地域振興課
会議名	令和元年度 第3回 匹見地域協議会
開催日時	令和元年10月29日(火) 14時00分～
開催場所	益田市匹見タウンホール 集会ホール
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 匹見地域協議会委員(5名) ・ 河上副市長 ・ 政策企画課: 志田原課長 ・ 財政課: 齋藤課長 ・ 匹見総合支所: 島田支所長 <p style="text-align: center;">地域振興課: 藤井課長、田中参事、齋藤分室長 藤本分室長、 佐々木分室長、宮野</p>

【会長あいさつ】

本日の出席者はちょうど半分という状況。

本日は協議事項が2項目。慎重にご審議をお願いしたい。

【協議事項】

(1) 益田市の合併報告書(案)について

①河上副市長あいさつ

○早いもので合併して15年が経とうとしている。合併時に作った新市建設計画も当初10年という予定から5年延びて15年、一定程度、市と町が一体的な醸成が進んだものと認識している。一方で、まだ達成できていないところもある。今後も一緒になって新益田市としての取り組みを行ってまいりたい。事前に合併報告書(案)をお配りしているが、今日の皆さまからの忌憚のない意見を賜りたい。

②合併報告書(案)の説明(資料1: 志田原政策企画課長より説明)

- 平成16年2月に策定した「益田市・美都町・匹見町新市建設計画」が今年度で終了する。
- 美都地域協議会、匹見地域協議会の任期が本年度で終了する。
- 合併特例債(合併した市町が発行できる地方交付税の措置率が高い地方債)について、発行可能額がほぼ減少しているという実態がある。
- 報告書には、益田市が合併してからの人口の推移、面積、地域協議会の開催状況、合併特例債の活用状況、合併調整項目、行財政の数値などが明記。
- 本年度で新市建設計画の計画期間が終了し、美都地域、匹見地域に設置された地域協議会も本年度でこの役目を終える。これを一つの節目とし、今後も新市の一体感の醸成や地域課題の解決など、持続可能な地域づくりに向けて取り組んでいく必要がある。といった報告書内

容となっている。

(質疑・意見)

- ある程度、夢を持って迎えた合併であったが、現状、特に匹見地域は非常に厳しい状況となっているのをひしひしと感じる。
- 今後を非常に危惧する。地域協議会も一応終了ということで、今後は一層この地域にいる職員が、より厳しさをもって住民ニーズに答えていくような施策をしていてもらいたい。住民としては市長と語る会等、積極的に出て行ってそれなりに提言をしていくことが重要であると感じている。
- 温泉の改修事業として令和元年2850万円と計上されているが、これは温泉の修繕をする3000万円と聞いているのか。また、耐震化の事業360万円というのは調査費か。
 - ▷ そのとおり。温泉改修でとして予算措置した3000万のうち合併特例債が95%ということで2850万円となっている。
 - ▷ 耐震化事業360万円は設計額であり、工事費については再度補正等で計上予定としている。
- 来年度耐震化をやるということで、合併特例債の発行額が現在125億1890万円で限度が125億8000万円、この125億1890万円で合併特例債は終わりという考え方でいいか。
 - ▷ 限度額まで7000万円程度余りがある。余りについてはこの庁舎の工事費に充てたいと考えている。
- 庁舎（タウンホール）の耐震化は是非やってもらいたい。現在タウンホールのお風呂の調子が悪く、匹見に泊まっても温泉が無い今、お風呂にも入れない状況を作りたくない。
 - ▷ 以前からタウンホールのお風呂のお湯の出が悪いといったご相談いただいており、実際、今後は改修を控えているところであるが、それまでのところでも可能な限り早急な対応をしたい。
- 旧匹見町が持っていた温泉基金について、市は、出し渋りをしながらも温泉の修繕に使った。本来、市の一般財源でやるべき温泉の修繕を、温泉基金があるからといって基金をなし崩し的に使った。今になって遅いと言われるかもしれないが、本来、基金というのはいざという時のもの。こういった修繕に基金を使うのはおかしい。
 - ▷ 今話があった基金について、これは確かに温泉にも使わせていただいた。ただ何に使うかは、地域協議会にもお話をして使ってきた。本来、一般財源を入れて、全体的な事業の中で取り組むという考えは、市としても十分認識しており、その中で早急に手を打たないといけない部分を基金も活用させていただいた。
- 第6次益田市総合振興計画の作り方で、市民の声をきめ細かく反映すると書いているが、地域協議会も終わる中で、どうやって住民の意見を聞き、どういう形で策定していくのか。
 - ▷ 今年度については市民を何人か抽出しアンケート調査を実施する。それから外部委員として各地域から、美都地域・匹見地域からそれぞれ一人ずつ入ってもらうことを想定している。職員の中でも策定チームをつくっており、美都支所・匹見支所からも職員が出て色々な意見を集約してもらうということを考えている。
- 合併特例債はそれぞれ事業に充当して、基金繰入金に3470万円を積立てている。合併特例債

は今年度までで、もう少し残りがある。そうやって基金に積み立てることはできないのか。

▷ ソフト事業に充当するということが合併特例債を積み立てた地域振興基金という基金がある。合併特例債は今年度でなくなるため、この基金の増額は難しい。

●ちゃんとした使い道がないと許可が出ないということか。

▷ そのとおり。この基金についても限度額というのが決まっている。限度額までは積立てており、できるだけ地域振興に資する事業にはこの地域振興基金も活用したい。

●状況を見ると特例債をかなり使い残して終わるが、合併して市が色んな事業計画をしなかったから仕方がなかったということですね。

▷ 合併特例債は発行する額が終了する。

●特例債は匹見地域で何に使えばいいかとなると、匹見支所で発案をして、こういうことに使うからという提案をしなければいけない。

▷ 匹見については過疎債、辺地債等もあり、そちらの方が有利な起債となり、優先的に使っているという状況もある。

●益田市の地域振興基金は益田市の地域振興に関わることに使うということで、これは残高16億295万ということだが、期限はないのか。

▷ 期限はない。ただし、積み立てた年度によってその年に使える額が決まっている。

●合併特例債の限度額はいくらか。

▷ 限度額については125億8680万である。

●財政的に考えれば過疎債・辺地債使った方がいいとのことだが、過疎債・辺地債について美都地域・匹見地域で、この15年でどれだけの事業をしたか。

▷ 過疎債・辺地債は匹見地域で、両方合わせて19億程度。美都については辺地債がなく過疎債で11億。

●主にどういった事業をしたのか。

▷ 匹見地域の主な事業としては、道川会館、市道内谷線、スクールバス、匹見峡の整備、林道関係、匹見下地区多目的集会所というものがあつた。

●合併の中で一番匹見が望んでいたのはグリーンライン90の整備。全然進んでいないというのが実態。再度、県・国に働き掛けるべき。

▷ グリーンライン90が一番大きな重点課題。益田市として県に要望し続けることをお約束する。国に対しても事業が早期に終わるように重点的に配分してもらうよう働きかけたい。

●この地域協議会の総括として、意見が反映される方法はあるか。

▷ 美都地域では、協議会として皆さんから意見を頂いたものを最後のまとめとして市長に意見書として出していこうという意見がある。匹見も同様に委員さんが意見書を出そうという事になればそういった運びになろうかと思う。

●匹見の地域協議会としても終わりにあたって文書を提出したい思う。

(2) 匹見豪雪山村開発総合センター耐震化事業について (資料2: 斎藤分室長より説明)

○庁舎の耐震化及びタウンホールの改修のイメージを詳細を説明する。

○改修内容

・耐震工事 ①庁舎の旧屋上の部分の屋根に鉄骨部材の補強を行う。

② 2階トイレ部分の裏の壁に耐震補強壁を新たに設ける。

- ・改修工事 空調機器更新、照明機器（LED）更新、電気設備（キュービクルを外に移設）更新自家発電装置設置、内外装工事、玄関入口の自動ドア化、防火シャッター改修、ロビー石畳改修、タウンホール風呂改修、ボイラー更新（A 重油から灯油へ）等を行う。
- ・その他工事 当該建物は特殊建築物であり、3年に一度外部機関による調査を受けているが、その結果補修等が必要であると指摘を受けた部分の修繕を行う。

（質疑・意見）

・庁舎について

- フロア改修についてはどうということ。
 - ▷ トイレ前の石畳部分を転倒の危険を減らすため改修する。
- 2度と工事をしなくて済むよう合理的に改修してもらいたい。
- 現在、応接と資料室の間に壁がある。壁を取り除いて一部屋にするのか。
 - ▷ そのとおり。応接機能はそのまま残し、文書棚を置いていきたい。
- 自動ドアはどの部分か
 - ▷ 庁舎の外側の出入り口。
- 庁舎玄関は今2重ドアになっているが、そこはどうか。
 - ▷ これまでと同じように扉式で新たな戸を設置する。

・庁舎2階について

- 2階は埋文倉庫と備品・資料庫になっているがどのような改修にするのか。
 - ▷ 基本的には現状のまま倉庫等で使用する。2階にもトイレと給湯室があるが、それは壊し、トイレの再設置はしない。また、この2階の現トイレ周りに耐震に伴う補強壁が入る。
- トイレを無くすことは良いと思う。。

・庁舎3階屋

- 意見なし

・タウンホールについて

- 集会ホールについて、備え付けの椅子にできないのか。
 - ▷ 以前の協議会するときにもそのご意見があったが、ここは避難所にもなっており、備え付けの形の座席というのは難しい。ただ現在使用しているパイプ椅子はスチール製で重たいという意見もあり、かなり古くなっている。そのあたりについては対応も考えていく。
- 避難所は他（学校等）にもある。だから避難所になっているからという論法はおかしい。
 - ▷ 客席について段差のある形にすると、避難所ということだけではなく、これまでの会議や集会等の活用の状況等をみても、そういった座席の形では中々難しいのと考える。
- 会議室は庁舎側にできるではないか。
 - ▷ 現在、一番人数的に大きい会議は自治会長会議である。その人数になると、庁舎側に新たに作る会議室のスペースには入りきらない。

- とにかく住民の意見というのを一番に汲み上げてこの改修をしていくのが基本だと思う。
 - ▷ 「椅子式にします」とお約束することは難しい。実際にこれから設計入っていくので、そういう意見も踏まえて検討してまいりたい。
- 映写室のところを倉庫にするということだが必要なのか。映写室を取り除けばこの部屋自体が広がる。
 - ▷ 先般、設計の方と建築課と一緒に映写室の確認をしたところ、構造上映写室部分を取り除くことは難しいという説明であった
- 廊下を付けた場合、北側のほうは窓が全部潰れるので暗くなるのではないかと。
 - ▷ 暗くならないような配慮を考えていきたい。
- 楽屋があっても通路があるのか。
 - ▷ ステージ自体にそれほど奥行はないし、ステージの後ろの壁は上に行くにつれて前側に傾斜している構造になっている。幕の後ろに現在椅子がしまっているような状況で、色々な動きを考えると、ステージの後ろ側を移動するのは中々難しいかなと、いうところで、後ろに回り廊下を設けた。
- 廻り廊下じゃなくて通路は必要なのか。
 - ▷ こういう形で改修していきたいというイメージをお示ししている。それに対して今ご意見をいただいた。それを踏まえ再度、設計の方との協議をしていく。
- 完成後に、うまくいかなかった、ということが無いように色々な意見を聞いて、今できる最善のことを目指してやっていただきたい。いずれにしても町民が使いやすく快適で、行事がこなせるようになってもらえればいいと思う。
- 離れ（宿泊施設）の方は改修しないのか。
 - ▷ 宿泊施設は基本的にそのまま（改修無し）と考えている。こちらのトイレを以前改修しており、消防設備の関係、警報装置の関係の改修も行った。

- ホールのロビーに壁と新たなスロープを設けるのか。
 - ▷ 暖房・冷房の効きをよくするためにということと、混雑を避けるためロビーの狭さを改善出来たらと考えている

- 庁舎部分、ホール部分と色々意見が出たが今までのことを踏まえて取り入れられるものは取り入れていただき、よりよい施設になるような設計をお願いしたい。